

## 愛知



今村彩子 (いまむらあやこ)

名古屋出身。愛知教育大学卒業。大学在籍中に米国留学し、映画制作を学ぶ。主な作品「珈琲とエンピツ」「架け橋 きこえなかった3・11」。今村彩子監督公式サイト「<http://studioaya.com/>」ブログで制作や上映活動などを綴っています。

### 1 映画「架け橋 きこえなかった3・11」の完成・劇場公開

東日本大震災で被災した聞こえない人たちを2年4か月間取材し、制作した集大成です。イタリア・ローマの映画祭「CINED EAF」に招聘されました。

### 2 「架け橋」が本当の架け橋に〜気象庁と全日本ろうあ連盟のつながり〜

気象庁地震津波防災対策室の室長が「架け橋」を見て、聞こえない人たちにも伝えることが大切だと感じ、全日本ろうあ連盟と連携し、地震・津波防災知識や防災行動についての出前講座を実地しようということになりました。

### 3 ダスキン「つりざお」制作

ダスキン愛の輪基金の研修生の活動紹介ビデオを制作しました。それまでは聞こえない人を中心に撮っていましたが、目の見えない人、車いす利用者なども取材し、自分の世界が広がり、豊かになりました。

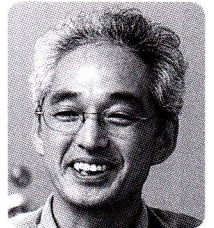
### 4 第47回全日本聾教育研究大会 (愛知)

地元名古屋で開かれ、全国から教諭や聾教育関係者が集まりました。私は映像アトラクションで、愛知県内の5つの聾学校の紹介ビデオを制作し、上映しました。

### 5 「珈琲とエンピツ」完成2012年

私が制作した映画「珈琲とエンピツ」が完成し、70か所以上で上映され、13,000人以上の方に観ていただきました。

## 兵庫



相良 一郎 (あいらいちろう)

1954年8月21日生まれ。神戸市在住。現在、神戸芸術工科大学プロダクトデザイン学科教授。8月まで(一社)日本リハビリテーション工学協会会長を務め、現在副会長。(一社)日本福祉のまちづくり学会関西支部長。

はじめまして。リハビリテーション工学やユニバーサルデザイン(UD)の視点から今年の5大ニュースを選んでみました。

### 1 一「障害者差別解消法の成立」です。ADAから四半世紀弱を経て障害のある人への差別を無くす法律が成立しました。差別禁止法ではないのが日本のなのでしょう。2016年の施行が待たれます。

二「目は「PwOONONピック・パリンピックの東京開催決定」です。パリンピックがよりオリンピックに近づくことが期待されます。この決定に先立ち、パリンピックも文部科学省の所管になったことも大きなニュースだと思います。東京のパリアフリーが進むことでしょう。

三「つめは「認知症者の数が462万人」という報道です。厚生労働省の研究班からの推計値が発表されました。これまで発表されてきた数値をはるかに上回る数字です。軽度認知症者数400万人を加えると、高齢者の4分の1が認知上の問題を抱えていることとなります。関連する事故のニュースも目立ってきました。

四「つ目は、障害のある人がメインストリームに加わるための方法としての支援技術やUDの国際的取り組みの促進のために「障害と開発」と題した公開書簡が国連事務総長宛に届けられました。これはAAATE(欧州リハ工学会)、RESNA(北米リハ工学会)、ARATA(豪州リハ工学会)、AATADIS(南米リハ工学会)、RESJA(日本リハ工学会)が連名で署名したものです。

五 最後は悲しいニュース。障害のある人の自立生活と権利の獲得に多大な貢献をされてきた日米のリーダーが相次いで永眠されました。マイケル・ウィンター氏とDPR日本会議議長の三澤了氏です。ご冥福をお祈りします。